



平成21年12月 4日

ベラルーシ共和国ゴメリ医科大学への遠隔講義について

来る12月10日(木)に、長崎大学が国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館と共同でベラルーシ共和国のゴメリ医科大学へインターネットで遠隔講義を行います。

ゴメリ医科大学のあるベラルーシ共和国ゴメリ州は、23年前の4月26日に起きたチェルノブイリ原子力発電所の事故による被害が最も大きかった地域で、事故時に小児だった人たちを中心に甲状腺がんが激増したことがよく知られており、事故から20年以上が経った現在も思春期から青年期における甲状腺がんが大きな問題になっています。

長崎大学は1991年からチェルノブイリ周辺住民の健康影響調査や医療支援、共同研究を行ってきましたが、同時にヒバクシャ医療に携わる医師や医学生への教育支援にも力を入れています。昨年7月には、事故の影響で甲状腺がんを罹患し、現在ベラルーシ国内の医科大学で学んでいる3名の学生を長崎に招聘して研修を行いました。

長崎大学からゴメリ医科大学への遠隔講義は4年前から実施しており、今回は、母子保健をテーマに講義を行う予定です。

1. 日 時：平成21年12月10日(木)
日本時間午後4時～(ベラルーシ時間午前9時～)
2. 場 所：国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館(長崎市平野町7番8号)
3. 問い合わせ先
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科放射線疫学分野 高村 昇
電話：095-819-7170 E-mail:takamura@nagasaki-u.ac.jp